

## 世界のイノベーションを牽引し続ける XPRIZE 財団と パートナー契約を締結

～ANA チームが提案した“ANA AVATAR XPRIZE”が次期賞金レーステーマに決定～



ANA は、世界のイノベーションを牽引し革新を起こし続けているグローバルな非営利財団、XPRIZE 財団※1と日本企業として初めてパートナー契約を締結し、XPRIZE オフィシャルエアラインとなります。

XPRIZE 財団は、世界中で「イノベーション界のカリスマ」と評され、2014 年には米フォーチュン誌の「世界の偉大なリーダー50人」にも選出されたピーター・ディアマンデス氏が1995年に創立したアメリカの非営利団体です。高額な賞金を設定して世界中のチームが競い合う「国際賞金レース」というユニークな手法を展開し、この「競争」を通して、人間が持つ想像力、アイデア、インスピレーションと最新技術が正しく組み合わせられた全く新しいソリューションが早期、かつ効率的に実現できるとしています。この斬新な発想とそれに伴う成果は各国から高い注目と評価を得ており、XPRIZE 財団が拠点を置くアメリカ西海岸を中心に、多数の財界人や起業家などが本財団を支援し、世界中のイノベーターのチャレンジをサポートし続けています。

“世界のリーディングエアライングループ”を目指し挑戦を続ける ANA は、XPRIZE 財団のイノベーションとチャレンジに賛同し、この度パートナーシップ契約を締結、今後、双方の顧客等へのアプローチを通じて、世界中のイノベーターのさらなるチャレンジをサポートし続けるとともに、ANA 自らも変革を重ねていきたいと考えています。

また、パートナーシップ契約締結に先立ち ANA は、XPRIZE が主催する次期国際賞金レーステーマを決定するコンペ「VISIONEERS」※2にメンバーを派遣しており、この度、当コンペにて ANA チームが提案した「ANA AVATAR X PRIZE」※3が、次の国際賞金レーステーマとして採用されることが決定しました。

以上

### ※1: XPRIZE財団とは

人類に利益を与える技術の開発を促進し、世界が直面する課題の解決を目的とした賞金レースである“X PRIZE”を運営している非営利団体。過去の賞金レースとしては、資産家アンサリ氏がスポンサーとなり、民間による最初の有人弾道宇宙旅行を競った“Ansari X PRIZE”や、現在日本からのチームも参戦していることで話題を呼んでいる、月面への民間ロボット探査機着陸を競う“Google Lunar X PRIZE” (Google 社がスポンサー)などがある。[www.xprize.org](http://www.xprize.org)。

### ※2: VISIONEERS とは

従来、XPRIZE が行う国際賞金レーステーマは XPRIZE 側で独自に設計・実施していたが、2016 年度より初の試みとして外部組織とチームを編成し、約半年間かけて次期国際賞金レースのテーマを設計し、競うコンペ「VISIONEERS」を実施した。

### ※3: ANA AVATAR X PRIZEとは

「VISIONEERS」にて ANA チームが提案したもの。時間、距離、文化、年齢、身体能力など様々な制限に関わらず「移動」できる技術を通し、例えば医師や教員が不足している地域や、人間が立ち入れない災害現場等でのアバターを活用等を通じて社会的な課題解決への貢献を目指す。VR、ロボティクス、センサー等、最先端のテクノロジーを用いて、異なる複数の場所にあたかも自分が存在し、物理的に物を動かしたり触ったりできるテクノロジーの実現を目指している。<http://www.avatarxprize.com/>